

各位

上場会社名 株式会社アバールデータ
代表者 代表取締役社長 広光 勲
(コード番号 6918)
問合せ先責任者 管理本部担当部長 大関 拓夫
(TEL 042-732-1000)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成29年9月21日に公表した業績予想及び配当予想を下記のとおり再度修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成30年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,900	1,080	1,105	515	84.77
今回修正予想(B)	7,550	1,300	1,325	610	100.41
増減額(B-A)	650	220	220	95	
増減率(%)	9.4	20.4	19.9	18.4	
(ご参考)前期実績 (平成29年3月期)	7,797	906	933	685	114.08

平成30年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,400	1,070	1,490	1,850	305.56
今回修正予想(B)	7,050	1,290	1,705	1,945	320.16
増減額(B-A)	650	220	215	95	
増減率(%)	10.2	20.6	14.4	5.1	
(ご参考)前期実績 (平成29年3月期)	5,393	711	754	592	98.60

(注)業績予想については、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

修正の理由

(1)連結

当期における半導体業界は、大手半導体メーカーの積極的な設備投資により、半導体製造装置関連市場における需要は、期初より順調に推移いたしております。また自社製品・画像処理モジュールにおいては、新製品の立ち上がりに加え、検査工程の自動化ニーズの高まりから好調に推移しております。このため平成29年9月21日付け「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」にて発表しました売上修正予想額を更に上回る見込みとなりました。また営業利益、経常利益及び純利益におきましても、更なる売上高の増加及びこれに伴う生産稼働率の改善ならびに自社製品全般が好調なことによる売上総利益の向上によりそれぞれの修正予想数値を更に上回る見込みとなりました。

(2)個別

連結における修正理由同様、個別においても前回の業績修正予想を再度修正いたします。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成29年9月21日発表)	—	—	—	28.00	49.00
今回修正予想	—	—	—	37.00	58.00
当期実績	—	21.00	—		
前期実績 (平成29年3月期)	—	12.00	—	27.00	39.00

(注) 期末配当予想における、前回修正予想の1株当たり28円には、22円の普通配当に加え、6円の創業60周年記念配当が含まれており、今回の再度修正予想の1株当たり37円には、31円の普通配当に加え、6円の創業60周年記念配当が含まれております。

修正の理由

当社は株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要施策の一つと考え、安定的な配当にも考慮しつつ、各期の連結業績に応じた利益の配分を基本方針としております。そして将来の企業価値向上に向けた事業投資に伴う中長期的な資金需要や財務状況の見通しなどを総合的に勘案し、連結配当性向35%を基本に株主の皆様への成果配分を行ってまいりました。

このような方針のもと、期末の配当予想につきましては、既述、再度の業績予想修正並びに株主の皆様への利益の配分の基本方針を考慮し、平成29年9月21日に発表した配当修正予想を上記のとおり再度修正いたします。

以 上